

取組と目標に対する自己評価シート

伊賀市：自立支援・重度化防止

タイトル	住みよいまちづくりの推進（高齢者の移動手段の確保）
------	---------------------------

年度	2019（令和元）年度
----	-------------

前期（中間見直し）

実施内容	伊賀市高齢者輝きプラン（第5次高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画）P46
自己評価結果	
課題と対応策	

後期（実績評価）

実施内容	福祉有償運送事業補助金額（介護高齢福祉課高齢福祉係）					
計画期	第6期			第7期		
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	—	—	—	11,500千円	11,500千円	11,500千円
実績値	10,888千円	10,464千円	11,000千円	11,065千円	9,640千円	
自己評価結果（◎）	福祉有償運送事業者（非営利活動法人）に対し、運営費の一部を補助することが事業の運営に繋がっている。その結果、公共交通機関を一人で利用できない人への移動手段の確保に取り組むことができた。しかし、コロナの影響により利用者の減少がみられた。					
課題と対応策	福祉有償運送事業者の人材不足（運転手）が深刻化しており、運営を維持していくことが困難になってきている。また、旅客からの対価もタクシーの概ね二分の一と定まっているため、運営資金のやりくりも厳しい状況にある。運転免許自主返納者を含め、高齢者の移動手段を確保するためには、他部署と連携を図り、市全体として移動手段を考えていく必要があるが、対応策が見出せていない。					